



パーソナルシステム/55™

IBM DOSバージョンJ4.0/V

追加情報

第1版 1991年2月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 1991

プリンター追加情報

IBM DOSバージョンJ4.0/Vでは、IBM 5575/5577系プリンターのほかにEPSON ESC/P**対応プリンターも使えるようになりました。

本書は、このプリンターを使用するために必要な追加情報を記述したものです。DOSを導入したりプリンターを設定するときに、以下の2冊のマニュアルと併せてお読みください。

- 「IBM DOSバージョンJ4.0/V 導入と入門(カ・ン・タ・ンDOS)」
(N:SH18-2310)
- 「IBM DOSバージョンJ4.0/V ユーザーズ・ガイド」

なお、プリンターの設定および切り換えの手順を知りたい場合は、5ページの「プリンターをお使いになる方へ」をご覧ください。

- プリンターのコントロール・コードが画面に表示されます。
(ESC/P J54レベル)
- このデバイス・ドライバはIBMのドットマトリクスフォントの印刷をサポートしていません。
- 画面に出力される字体とプリンターに出力される字体が異なる場合があります。

** EPSON ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の商標です。

！ このパネルは、「IBM DOSバージョンJ4.0/V 導入と入門(カ・ン・タ・ンDOS)」の中で、以下の個所に差し入れて参照してください。

- 15ページの手順11の後
- 18ページの手順5の後
- 20ページの手順3の後

導入プログラムを実行していくと次のようなメニューが表示されるので、ご使用になるプリンターを選択・設定してください。

どのプリンターを使用しますか？

1. IBM 5575/5577系 プリンター
2. ESC/P対応 プリンター

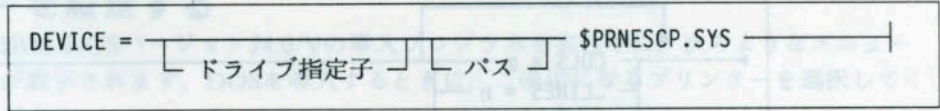
番号を選んでください [1]

Enter (改行) Esc=取消 F3=終了

! このページは「IBM DOSバージョンJ4.0/V ユーザーズ・ガイド」の6-275ページの後に差し入れてお読みください。

\$PRNESC.PSYS (ESC/P対応プリンターでの印刷) CONFIG.SYS (DEVICE =)

ESC/P対応プリンターで印刷するためのプリンター・サブシステムです。



- 接続されるプリンターはESC/P対応プリンターでなければなりません。
- このデバイス・ドライバーは日本語環境でのみ動作し、SHIFT-JISコードをJIS 16進コードに変換し、プリンターに出力します。
- プリンターのコントロール・コードは、そのままプリンターへ送られます。(ESC/P J84レベル)
- このデバイス・ドライバーはIBM外字、IBMユーザー・フォントの印刷をサポートしていません。
- 画面に出力される字体とプリンターに出力される字体が異なる場合があります。

プリンターを切り換える

ESC/PからIBM 5170/5177へ

導入プログラムを再実行することにより、メニューで設定します。

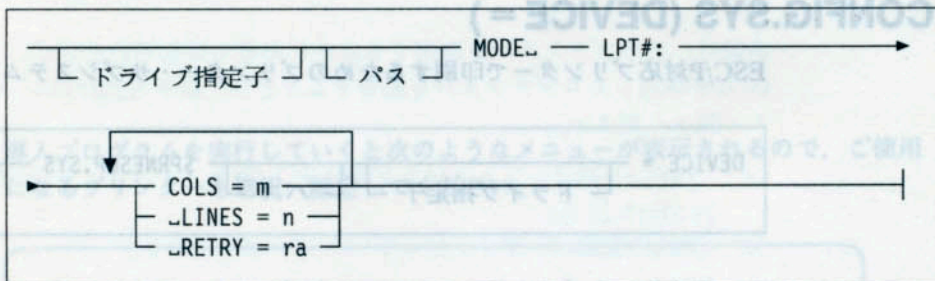
「導入」ディスクおよび「操作」ディスクのインストール

「導入」ディスクのインストールは、インストールディレクトリにインストールされたプログラムを実行することによって行われます。インストールディレクトリに移動し、`INSTALL`を実行します。インストールが完了すると、インストールディレクトリに`INSTALL.LOG`ファイルが作成されます。

「操作」ディスクのインストールは、インストールディレクトリにインストールされたプログラムを実行することによって行われます。インストールディレクトリに移動し、`OPERATION`を実行します。インストールが完了すると、インストールディレクトリに`OPERATION.LOG`ファイルが作成されます。

！ このページは「IBM DOSバージョンJ4.0/V ユーザーズ・ガイド」の6-165ページと差し換えてお読みください。

プリンター・モードの設定



LPT#

プリンター番号を指定します。#にはプリンター番号1, 2, 3のどれか（通常は1）を指定します。

COLS = m

1行当りの文字数を指定します。mには、132, 158, 176または198のいずれかを指定します(IBM 5575/5577系プリンターをご使用の場合)。mには、80または132を指定します(ESC/P対応プリンターをご使用の場合)。

COLS=の代わりにCOLUMNS=も使用できます。

LINES = n

縦方向の行間隔を1インチ(25.4mm)当りの行数で指定します。nには、4, 5, 6, 7.5 (省略して7だけでも可)のいずれかを指定します(IBM 5575/5577系プリンターをご使用の場合)。nには、6または8を指定します(ESC/P対応プリンターをご使用の場合)。

RETRY = ra

再試行を実行するMODEコマンド常駐部を導入し、指定されたプリンター・ポートに対する状況要求への対処方法を指定します。ra値は次のとおりです。

値	操作
E	ポートが「使用中」の状態にあるとき、状況チェックの結果として「エラー」を戻します。デバイス・ドライバーがバックグラウンドで動作中であり、宛先でのデータ読み取りが、デバイス・ドライバーの送信速度に追いつかない状況で、フォアグラウンドの動作を助ける働きがあります。この方法はMS-NETWORKSのプリント・コマンド(NETPRINT)を使用してプリンターまたはプロッターを駆動させる場合と同じものです。デバイス・ドライバーがフォアグラウンドで動作する場合([Ctrl] + [Esc])を押した場合と同じく)には、装置が使用中になるとエラーとなり画面に表示されることがあります。

プリンターをお使いになる方へ

IBM DOSバージョンJ4.0/Vでは、以下に示す種類のプリンターを使用することができます。

- IBM 5575/5577系プリンター
- ESC/P対応プリンター

プリンターを設定する

IBM DOSバージョンJ4.0/Vの導入プログラムを実行中に、次のようなメニューが表示されます。DOSを導入するときに、ご使用になるプリンターを選択してください。

どのプリンターを使用しますか？

1. IBM 5575/5577系 プリンター
2. ESC/P対応 プリンター

番号を選んでください [1]

Enter (改行) Esc=取消 F3=終了

プリンターを切り換える

ESC/PからIBM 5575/5577へ

ESC/P対応のプリンターをご使用の場合、IBM 5575/5577系プリンターに切り換えるには、次の2とおりの方法があります。

- 導入プログラムを再度実行することにより、メニューで設定します。
- 「導入」 ディスケットおよび「操作」 ディスケットの中のサブディレクトリー¥DOSから、次の5つのファイルを使用するDOSシステムの中のサブディレクトリー¥DOSへ複写してください。

```
$PRNUSER.SYS  
MODE.COM  
GRAPHICS.COM  
GRAPHICS.PRO  
PROPRINT.COM
```

次にCONFIG.SYSの中のdevice = 行の\$prnescp.sysを\$prnuser.sysに書き換えます。

IBM 5575/5577からESC/Pへ

IBM 5575/5577系プリンターをご使用の場合、ESC/P対応のプリンターに切り換えるには、次の2とおりの方法があります。

- 導入プログラムを再度行うことにより、メニューで設定します。
- 「操作」ディスクの中のサブディレクトリー¥DOS¥ESCPから、次の5つのファイルを使用するDOSシステムの中のサブディレクトリー¥DOSへ複写してください。

```
$PRNESC.PSYS
MODE.COM
GRAPHICS.COM
GRAPHICS.PRO
PROPRINT.COM
```

次にCONFIG.SYSの中のdevice = 行の\$prnuser.sysを\$prnescp.sysに書き換えます。

```
device = %prnuser.sys
device = %prnescp.sys
```

ESC/P対応のプリンターを使用する場合は、MODE.COMをコピーして、%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。IBM 5575/5577系プリンターを使用する場合は、MODE.COMを%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。この方法は、この方法には出ませんが、GRAPHICS.COMやGRAPHICS.PROをコピーしてプリンターコマンドプロンプトで実行してください。

• 導入プログラムを再度実行することにより、メニューで設定します。

• 「操作」ディスクの中のサブディレクトリー¥DOS¥ESCPから、次の5つのファイルを使用するDOSシステムの中のサブディレクトリー¥DOSへ複写してください。

ESC/P対応のプリンターを使用する場合は、MODE.COMをコピーして、%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。IBM 5575/5577系プリンターを使用する場合は、MODE.COMを%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。この方法は、この方法には出ませんが、GRAPHICS.COMやGRAPHICS.PROをコピーしてプリンターコマンドプロンプトで実行してください。

• 導入プログラムを再度実行することにより、メニューで設定します。

• 「操作」ディスクの中のサブディレクトリー¥DOS¥ESCPから、次の5つのファイルを使用するDOSシステムの中のサブディレクトリー¥DOSへ複写してください。

ESC/P対応のプリンターを使用する場合は、MODE.COMをコピーして、%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。IBM 5575/5577系プリンターを使用する場合は、MODE.COMを%DOS¥ESCP¥MODE.COMとして置き換えてください。この方法は、この方法には出ませんが、GRAPHICS.COMやGRAPHICS.PROをコピーしてプリンターコマンドプロンプトで実行してください。



日本アイビーエム株式会社
東京都港区六本木3-2-12 〒106
TEL (03) 3586-1111 (代)

Printed in Japan
79F3684/C71944